

## 〔浴室・トイレ・洗面所用〕

三菱中間取付形ダクトファン(24時間換気機能付)

仕様	1部屋換気用	1部屋換気用 DCブラシレスモーター搭載/定風量タイプ
形名	V-12ZMC <sub>7</sub> V-13ZMC <sub>7</sub>	V-13ZMVC <sub>4</sub>

## 取扱説明書・据付説明書

お客様用／販売店・工事店様用

**お客様**

この製品の運転にはスイッチが必要です。スイッチの位置を確認してください。

**お客様自身では据付けしないでください。  
(安全や機能の確保ができません)**

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。

**販売店・工事店様**

**本冊子は据付け後、必ずお客様へお渡しください。**

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は、浴室・トイレ・洗面所・居間・事務所・店舗の天井裏に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- 形名によって据付方法が異なりますので、据付け前に形名をご確認ください。形名表示位置は「3.各部のなまえと据付例」を参照してください。
- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチおよび吸込グリルが必要です。その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログをご確認の上、別途ご用意ください。
- 電子式スイッチ（半導体制御による速調・温度・湿度・タイマースイッチなど）やホテルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・鋼板管のいずれかをご用意ください。

**据付説明書は裏面をご覧ください**

## 取扱説明書

## 1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの	<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
-----------	-----------------------------------	-----------	---------------------------------------

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		水ぬれ禁止		分解禁止		接触禁止		感電注意		指示に従う		アース確認
---	----	---	-------	---	------	---	------	---	------	---	-------	---	-------

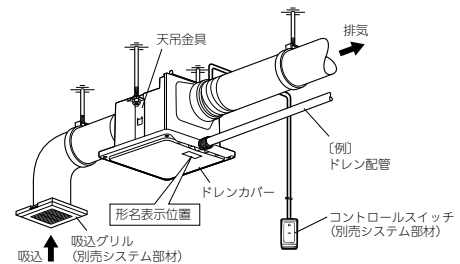
<b>警告</b>	
<p><b>禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●内釜式風呂を据付けた浴室には据付けられない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。</li> <li>●浴室内にコントロールスイッチを設けない 感電の原因。</li> <li>●ガス漏れに気付いたときは、製品のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。</li> </ul> <p><b>水ぬれ禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。</li> </ul> <p><b>分解禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。</li> </ul> <p><b>感電注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電気工事の際、裸線に接触しない 感電の原因。</li> </ul>	<p><b>指示に従う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。</li> <li>●交流 100V を使用する 直流や交流 100V 以外を使用した場合に感電の原因。</li> <li>●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 〈異常・故障例〉 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。</li> <li>●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう据付ける 漏電した場合に発火の原因。</li> <li>●湿気の多い場所ではアースを確実に取付ける 故障や漏電した場合に感電の原因。</li> </ul> <p><b>アース確認</b></p>

<b>注意</b>	
<p><b>禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●製品設置場所で熱気や油煙を発生させない 本体・部品の落下によるけがの原因。</li> <li>●製品設置場所中で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。</li> <li>●直接炎のあたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない。また、使用しない 火災の原因。</li> <li>●台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。</li> <li>●中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。</li> <li>●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。</li> </ul>	<p><b>接触禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運転中は危険なため、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。</li> <li>●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因。</li> <li>●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないけがの原因。</li> <li>●部品の据付けは確実に行う 落下によるけがの原因。</li> <li>●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。</li> <li>●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。</li> <li>●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によるけがの原因。</li> <li>●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。</li> </ul> <p><b>指示に従う</b></p>

## 2. 特長

- 定風量タイプは換気風量を適正に保つために風量を自動制御する機能を備えています。
- V-12ZMC<sub>7</sub>、V-13ZMC<sub>7</sub>は24時間換気を行うことで、給気口から新鮮な空気を取り入れ室内空気環境を改善します。
- V-13ZMVC<sub>4</sub>は換気風量（強・弱）の切り替えが可能であり、「弱」運転で24時間換気を行うことで、給気口から新鮮な空気を取り入れ室内空気環境を改善します。

## 3. 各部のなまえと据付例



### ご使用にあたってのお願い

- 高温（40℃以上）になるところに据付けられていないか確認してください。（製品の変形や早期故障の原因となります）
- スプレー（殺虫剤・整髪用・掃除用など）をかけないでください。（吸込グリル・羽根の破損、変質の原因となります）
- 製品設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合がありますのでご注意ください。
- 浴室など湿気の多い場所では吸込グリルから結露した水が滴下する場合がありますが、異常ではありません。
- 本体の真下に点検口があるか確認してください。（ダクト接続・ドレン配管の点検に必要です）

## 4. 使用方法

### 注意

- 製品設置場所で熱気や油煙を発生させない 本体・部品の落下によるけがの原因。
- 製品設置場所中で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。

- 運転開始と停止は壁のスイッチで行います。
- V-13ZMVC<sub>4</sub>は、壁のスイッチで風量の「強」・「弱」を切り替えることができます。

- お願い**
- 浴室使用においては、入浴時以外は浴槽に風呂フタをしてください。（浴室・製品のいたみを少なくします）
  - 給気口があるか確認してください。（効果的な換気を行うために必要です）

- お知らせ**
- 浴室使用においては、冬場や湯気の量が多いときなどに吸込グリルから水滴が落ちることがありますが異常ではありません。また、入浴剤をご使用の場合は色のついた水滴になる場合があります。
  - この製品は外気逆流や冷気侵入などを低減させるため、排気側に風圧式シャッターを設けています。風圧式シャッターでは急激なドアの開閉や外風の強い時などに、シャッターの閉じる音が聞こえる場合があります。
  - スイッチにより、ランプが点灯して運転中であることが分かるものがあります。
  - スイッチ（ランプ付）の仕様により、「強」・「弱」切り替えでランプの点灯が薄くなったりちらついたりすることがありますが異常ではありません。
  - V-13ZMVC<sub>4</sub>は電源投入後、羽根が回転を始めるまでに2秒程度かかります。※運転が安定するまでに数十秒かかります。

定風量換気


- 定風量換気運転中は運転音が変化しますが、これは換気風量を適正に確保するための自動制御によるものであり異常ではありません。
- 外風がある場合やレンジフードファンなどの運転時は適正な換気風量を確保するために羽根の回転数が上昇して運転音が大きくなりますが異常ではありません。

「強」運転の上手な使いかた

- 浴室・洗面所の水蒸気やトイレの臭いを急速に排出したいときは「強」運転に切り替えます。
- 浴室では入浴後、湯を抜くか、浴槽に風呂フタをして3時間以上製品を「強」運転し、浴室を乾燥させます。…結露・カビの発生を抑制して浴室安全に役立ちます。


5. お手入れのしかた

3か月に1度を目安に、吸込グリルの清掃をしてください。  
※清掃頻度は目安であり、使用環境により異なります。  
吸込グリルにほこりが付着しますと風量低下や異音発生の原因となります。  
吸込グリルの着脱方法は吸込グリルの取扱説明書をご確認ください。




### 警告

お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る  
感電・けがの原因。



### 注意

お手入れの際は手袋を着用する  
着用しないとけがの原因。



### お願い

- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。  
(台所用中性洗剤をご使用ください。ただし、柑橘系などの植物系洗剤はプラスチックが破損するおそれがあるため使用しないでください)  
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など  
(異常音の発生、変質、変色、塗装はがれや故障の原因となります)
- 台所用中性洗剤は原液のまま使用せず、洗剤に記載の使用量の目安に従い、薄めてご使用ください。
- 洗剤が残らないようによくふき取ってください。
- 吸込グリルを据付けの前に、割れ・ひびなどの破損がないか確認してください。

6. 修理を依頼する前に


### このような動作や事象は異常ではありません。

- 浴室使用においては、冬場や湯気の量が多い時は吸込グリルから水滴が落ちる場合があります。  
また、入浴剤をご使用の場合は色のついた水滴になる場合があります。
- この製品は風圧式シャッターを設けています。急激なドアの開閉や外風が強い時などに、シャッターの閉じる音が聞こえる場合があります。
- ダクト配管が長いまたは曲がりが多い場合は、羽根の回転数が上昇し、運転音が大きくなります。
- 使用環境によっては、部屋の反響などにより、音が大きく聞こえる場合があります。

### <定風量タイプ>

- スイッチ（ランプ付）の仕様により、「強」、「弱」運転切替えでランプの点灯が薄くなったり、ちらついたりすることがあります。
- スイッチを入れて、2秒後程度で運転し始めます。
- 羽根の動き始めは、モーター音が聞こえる場合があります。
- 換気風量を適正に確保するための自動運転制御により定風量換気運転中は運転音が変わることがあります。

当社ホームページの「よくあるご質問FAQ」もご確認ください。  
<https://faq01.mitsubishielectric.co.jp/category/show/270>



### このような症状があれば点検してください。

●スイッチを「入」にしても製品が運転しない。	●ブレーカーが切れていたり、停電ではありませんか？
●換気されない、換気量が不足する。	●給気不足ではありませんか？ (給気ガラリ、給気口は開いていますか？)
●運転中に異音がある。	●屋外フードにはこりが堆積していませんか？ ●吸込グリルが確実に据付けられていますか？
●吸込グリルから室内に風が吹き返す。	
●運転中に振動がする。	
●吸込グリルがはずれかけている。	●確実に据付けてください。
または傾いている。	

点検・処置をしても直らない場合

必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店・工事店に点検・修理を依頼してください。  
費用については販売店・工事店にご相談ください。

7. アフターサービス

- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 長年ご使用いただくためには製品のメンテナンスが必要です。
- モーターは消耗部品です。

■修理を依頼されるときは

- ご使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店・工事店にご連絡ください。

### ●修理料金は

技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。

- 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- 出張料…お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

### ●ご連絡いただきたい内容

1. 品名	中間取付形ダクトファン
2. 形名	V-○○○○
3. お買い上げ日	○年 ○月 ○日
4. 故障の状況	(できるだけ具体的に)
5. ご住所	(付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日	

ご相談窓口・修理窓口のご案内（住宅用換気送風機）

### 取扱い・修理のご相談は、まず お買い上げの販売店・施工者・設備業者へ

- お買い上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、**各窓口** へお問い合わせください。

### ■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合せ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合せ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除く。当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
4. 個人情報に關するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。  
②法令等の定める規定に基づく場合。

### ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法

- 三菱電機換気送風機技術相談センター

フリーダイヤル **0120-726-471** (無料)

携帯電話対応  
三菱電機株式会社 中津川製作所 FAX (0573) 66-5659 (有料)  
〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

### ■ご相談対応



平日（土・日・祝及び弊社休日以外）  
**9:00～12:00**  
**13:00～17:00**

### 修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼

- 三菱電機修理受付センター

パソコン・スマートフォン **www.melsc.co.jp/support/**  
こちらから簡単にアクセスできます。

フリーダイヤル **0120-56-8634** (無料)

携帯電話の場合	
	<b>TEL 0570-01-8634</b> (有料)
	<b>FAX 0570-03-8634</b> (有料)
電話受付時間 365日 8:00～19:00	

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。  
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

8. 仕様

形名	設定	消費電力 (W)		開放風量 (m³/h)		有効換気量 (m³/h)				騒音 (dB)		質量 (kg)
						パイプ長さ 20m時		パイプ長さ 30m時				
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
V-12ZMC7	24時間換気	7.5	8.5	95	95	71	72	65	66	36	36	1.3
V-13ZMC7	24時間換気	15	18	105	105	90	91	85	86	32	32	2
V-13ZMVC4	強	5.5		100		100		100		31		1.9
	24時間換気(弱)	2.7		70		70		70		23		

※特性値はJIS C 9603に基づき、測定した静圧0Pa時のものです。  
※騒音値は無響室での測定値です。実据付状態では反響音などを含むためこれより高くなります。  
※加圧を配管相当長としてみなし、ダクトや屋外フードの圧力損失を考慮して20m、30m時の換気量を「有効換気量」と称しています。〈戸建住宅は20m、集合住宅は30mを想定〉

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号





### ●適応コントロールスイッチ

風量切替		コントロールスイッチ	
		形名	定格
2設定切替え	(1)強ー弱	P-04SWLB5	0.5A AC300V
単一設定	(2)弱	P-11SWL2	
	(3)強	P-11SW2	

- コントロールスイッチ(ランプ付)の仕様により、「強」・「弱」切替えでランプの点灯が薄くなったりちらついたりすることがありますが異常ではありません。
- 市販のコントロールスイッチで24時間換気運転する場合は、スイッチを容易に停止されない工夫が必要です。

### ●複数台運転について

- お願い** ●コントロールスイッチ1個で製品を複数台運転させる場合、指定台数を超えないでください。製品の突入電流によりコントロールスイッチが故障する原因となります。

### ●コントロールスイッチ1個での複数台運転の指定台数

コントロールスイッチ		DCブラシレスモーター搭載 製品の組合せ		V-13ZMVC4のみの組合せ
仕様/形名	定格			
専用	P-04SWLV2	15A-AC300V	3台	5台
その他	ランプ無し	15A-AC300V	3台	5台
	ランプ付き	0.5A-AC300V	—(複数台運転不可)	1台(複数台運転不可)

## ■結線の前の確認

### 1. 電圧の確認

- 線間電圧が表の電圧であることを確認してください。

### 2. 電気配線の識別

- 正しく結線するために、電気工事の際、各電源電線を識別できるようにしてください。

DCタイプ専用コントロール  
スイッチ(P-04SWLV2)、  
その他のコントロールスイッチ  
(単一風量設定仕様: 弱)の場合

電圧チェック表		線間電圧(V)	
スイッチ	測定部	共通-強	共通-弱
切	0	0	0
入-強	100	0	0
入-弱	100	100	100

その他のコントロールスイッチ  
(風量2設定切替え仕様)の場合

電圧チェック表		線間電圧(V)	
スイッチ	測定部	共通-強	強-弱
切	0	0	0
入-強	100	0	0
入-弱	100	100	100

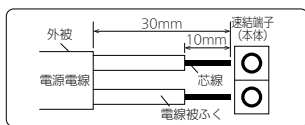
## V-12ZMC7の場合

## ■結線方法

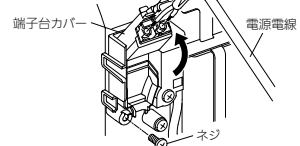
1. 端子台カバーを固定しているネジ1本をゆるめて端子台カバーを開け、速結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。
  - 電源電線の外被は30mm皮むきしてください。電線被ふくは10mm皮むきしてください。端子台カバーに刻印されている皮むき寸法図に合わせて皮むきすると便利です。(10mm以上むくと漏電の原因となります)
  - より線を結線する場合は、棒状圧着端子(市販品)をより線に取り付けてから速結端子に確実に差し込んでください。(導電部10mm未満の場合、結線部外れの原因となります)
2. 浴室などの湿気の多いところで使用する場合は、アース端子を使用して必ずD種接地工事を行う。また、漏電ブレーカーを取付ける。
  - アース工事の際は、単線の1.6またはより線1.25mm<sup>2</sup>をご使用ください。(圧着工具は日本圧着端子製造(株)製YHT-2210をご使用ください)
3. 端子台カバーを閉じて、ゆるめたネジ1本を締め付け固定する。
4. 電源電線をコードクリップで固定する。

## ■電源電線の外し方

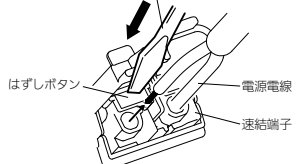
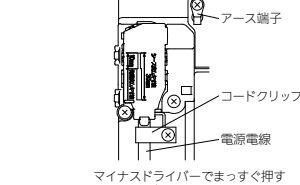
1. 電源電線をコードクリップから取り外す。
2. 端子台カバーを固定しているネジ1本をゆるめて端子台カバーを開ける。
3. マイナスドライバーで速結端子のはずしボタンをまっすぐ押しながら電源電線を引いてはずす。



<端子台カバー「開」時>



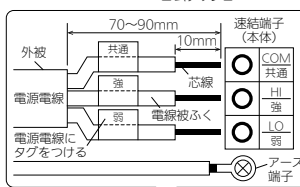
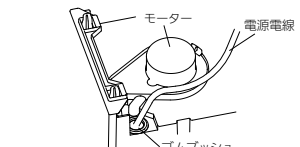
<端子台カバー「閉」時>



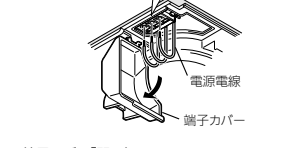
## V-13ZMC7、V-13ZMVC4の場合

## ■結線方法

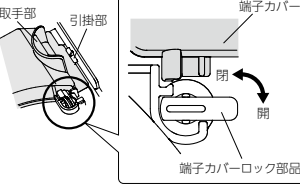
1. 本体上部のゴムブッシュより電源電線(屋内配線VVFケーブルφ1.6またはφ2)を通す。
  - 電源電線の外被は70~90mm皮むきしてください。
  - 電源電線は、接続部に力加わらないよう本体付近で約150mmたるませて、本体上部のモーターに接触しないようにしてください。
2. 端子台カバーロック部品が「開」状態であることを確認後、端子カバーの取手部に指を掛け、下に引いて端子カバーを開け、速結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。
  - 電線被ふくは10mm皮むきしてください。端子カバーに刻印されている皮むき寸法図に合わせて皮むきすると便利です。(10mm以上むくと漏電の原因となります)
  - より線を結線する場合は、棒状圧着端子(市販品)をより線に取り付けてから速結端子に確実に差し込んでください。(導電部10mm未満の場合、結線部外れの原因となります)
3. 浴室など湿気の多いところで使用する場合は、アース端子を使用して必ずD種接地工事を行う。また、漏電ブレーカーを取付ける。
  - アース工事の際は、単線の1.6またはより線1.25mm<sup>2</sup>をご使用ください。(圧着工具は日本圧着端子製造(株)製YHT-2210をご使用ください)
4. 端子カバーを元どおり取付ける。「パチン」と音がするまで押し込み、端子カバーが引掛部に確実に固定されていることを確認する。
5. 端子カバーロック部品を端子カバーに記載の「閉」方向に回転させてロックする。



<端子カバー「開」時>

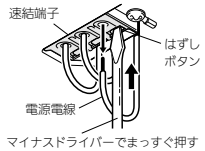


<端子カバー「閉」時>



## ■電源電線の外し方

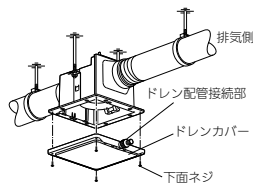
1. 端子台カバーロック部品を端子カバーに記載の「開」方向にマイナスドライバーで回転させてロック解除し端子カバーを開ける。
2. マイナスドライバーで速結端子のはずしボタンをまっすぐ押しながら電源電線を引いてはずす。



## 5 ドレンカバーの取付けとドレン水排出処理

浴室など湿気の多い場所を換気する場合は、必ずドレン水排出処理を行う。

- (1) ドレン水排出方向を選択する。
  - ドレンカバーの方向は
  - ・V-12ZMC7の場合は2方向(排気/吸込方向)
  - ・V-13タイプの場合は4方向から選択可能です。
- (2) ドレンカバーを付属のドレンカバー取付ネジ4本で取付ける。

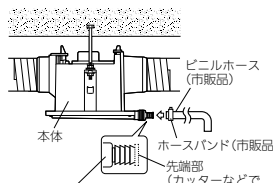


### お願い

- インパクトドライバーは使用しないでください。ドレンカバーが破損する原因となります。

## ドレン配管を接続する。

- (1) 本体下面にあるドレン配管接続部をはずし、先端のフタ部をカッターなどで切断する。
- (2) ドレン配管接続部にビニルホースを奥まで差し込み、ホースバンドで確実に固定する。
- (3) ドレン配管接続部に塩ビ用接着剤を塗布し、本体とドレン配管接続部を接着する。



### お願い

- ビニルホースの差し込みはドレン配管接続部の根元まで差し込んでください。
- ホースバンドで固定後接続部を引っ張り抜けないことを確認してください。
- ドレン水排出管からドレン水が漏れないように水漏れ防止処理を行ってください。
- ドレン水が本体へ逆流したり、途中でドレン水がたまる配管は行わないでください。

## 6 天井材を張る

天井材を張る。

### お願い

- メンテナンスが行えるよう本体の真下のドレンカバーが取りはずせる位置に点検口(□450mm)を必ず設けてください。
- 点検口が設置されていない場合、無償保障期間内であっても製品を修理するために必要となる天井やその他の取り壊しおよび修理費用はお客様のご負担となります。

## 7 吸込グリルの据付け

別売システム部材または市販のグリルを据付ける。据付方法は部材に同梱の据付説明書をご確認ください。

## 5. 試運転およびお客様への説明

- コントロールスイッチの切/入、強/弱切り替えが正しくできるか確認してください。
- 異常な音や振動がないか確認してください。

### 《お知らせ》

- 定風量タイプは電源投入後、羽根が回転を始めるまでに2秒程度かかります。※運転が安定するまでに数十秒かかります。
- 定風量換気運転中は運転音に変化がありますが、これは換気風量を適正に確保するための自動制御によるものであり異常ではありません。

### お客様への説明

表面の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様、発注者(オーナー、ゼネコン)または管理者に説明してください。

## 6. 修理を依頼する前に

■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき		原因	点検・処置
電源スイッチを「入」にしても羽根が回転しない強/弱のどちらか動かない	正しく結線されていない	分電盤のブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
		結線を確認する(スイッチ部/電源線接続部) ※製品にAC100Vが供給されていることを確認する ※ <b>【電気工事】</b> の結線図、電圧チェック表を確認する 特に弱運転をご使用される場合は結線間違いにご注意ください。	
運転中に異常な音や振動がする吸込グリルから吸込まない	本体・ドレンカバー・吸込グリルが確実に据付けられていない	本体・ドレンカバー・吸込グリルが確実に据付けられていない	正しく据付け直す
		羽根・吸込グリルに異物が付着している	異物を取り除く
	本体の固定が弱い	換気風路の抵抗が大きい(ガラリ・アンダーカット)	本体の固定を確認する
		換気風路の抵抗が大きい(ダクト配管)	ガラリ・アンダーカットを開けて給気する
	換気風路の抵抗が大きい(ダクト配管)	換気風路の抵抗が大きい(ダクト配管)	ダクトのつぶれ、急な曲がりを修正する
		換気風路の抵抗が大きい(屋外フード)	屋外フードのほころいを清掃する(特にリフォーム時)

※ティッシュペーパー1枚(2枚1組のティッシュは1枚に分ける)を吸込グリルに近づけ吸けかどうかで簡易的に吸込グリルの吸込みを確認できます。

